

平成 29 年度 事業計画書

(平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

特定非営利活動法人白ゆり会

1. 基本方針

平成 29 年度は、法人のテーマでもある『「いま」を支え「みらい」を創る』を念頭にこれまでの支援を振り返り、事業を点検し、整理します。

また、今後の事業展開を見据えた人材育成を目的とした資格の取得や、研修、講習会等研鑽に努めます。

2. 特定非営利活動に係る事業

(1) 障害福祉サービス

- ・ 作業の整理、作業の効率化をすすめ、作業目的を明確にすることで、工賃向上に努めるとともに、利用者それぞれのステージに見合ったプログラムを提供します。
- ・ チャレンジプログラムを提供し、作業以外の場面でも利用者のやってみようという気持ちに寄り添います。
- ・ バザー、委託販売などで自主製品の売上向上に努めます。
- ・ 日中活動支援の一環として社会体験プログラムを増やし、就労継続支援の周辺課題に取り組みます。
- ・ 心理教室を開催して、お金の使い方や家族との付き合い方、福祉制度の活用方法など普段の生活をよりよくする方法を一緒に考えます。

(2) 障害者の就労支援事業

- ・ 就労支援部会への参加や、特別支援学校の卒業生のフォローアップなど、今後も地域全体の就労支援を意識した活動を継続します。
- ・ 北播磨障害者就業・生活支援センターと連携し、利用者向けの研修会を行うなど就労前準備訓練の充実を図り、一般就労後の継続力を見据えた支援を行います。
- ・ OB 会と現在の利用者が交流する機会を設け、OB 会の就労経験をフィードバックします。

(3) 地域生活支援事業

① 地域活動支援センター事業

- ・ 居心地の良い居場所づくりに努めます。
- ・ 利用者の個別支援計画を作成することで、個々の利用目的を明確にし、目的に応じて支援を行います。
- ・ ボランティアとの交流を通じて、地域の方々とのつながりを持てる場にします。また、ボランティアに情報提供を行い、活動の場を調整し、その活動を支援します。
- ・ 専門の相談員を配置し、相談支援のネットワークを活用した支援を行います。

② 相談支援事業

- ・ 西脇市からの委託事業を中心に、計画相談も行います。
- ・ 関係機関、専門機関と連携し、相談支援のネットワークを広げていきます。

(4) 精神障害者の自立支援事業

- ・ 地域活動支援センターなかよし工房が担当し、地域における居場所づくりに努めます。

(5) 精神保健福祉等の啓発事業

- ・ 相談支援センターが実施する啓発講演会に法人全体で取り組みます。
- ・ 広報誌の発行、ホームページを更新し、内容の充実に努めます。
- ・ 白ゆり会まつりを今年度も開催します。

職員会

- ・ 専門職の方を講師として招いて勉強会を開催し、スキルアップを図ります。
- ・ 研修、講演会に積極的に参加し研鑽に努めます。
- ・ 各事業所別の個別支援会議並びに木曜連絡会を継続開催します。

理事会

- ・ 中長期の視野に立ち、白ゆり会の強みを生かせる事業展開を計画します。
- ・ 童子山にあるういぶねつの空き室を白ゆり会家族会の事務局として活用します。
- ・ 多可町の拠点について、白ゆり会の事業全体を含めて、2年を目途に検討します。